

第 76 回日本学校農業クラブ全国大会

令和7年度

西関東大会

(山梨・東京・神奈川)

実施大綱(素案)

付 全国農業高等学校長協会:第 155 回全国理事会

第 150 回総年会並びに令和 7 年度秋季研究協議会

開催要項 (素案)

第 76 回日本学校農業クラブ全国大会事務局

趣 意 書

日本学校農業クラブ連盟（FFJ）は、全国47都道府県の農業を学ぶ高校生と関係職員で構成された農業教育の全国組織として昭和25年（1950年）に結成されました。本連盟の目標は、「科学性」「社会性」「指導性」の育成であり、以来、70年あまり、日本および世界の農業および環境の発展に大きく寄与し、地域農業の発展に貢献する人材を輩出してまいりました。毎年、秋に開催される農業クラブ全国大会は日ごろの学習の成果の集大成として、プロジェクト発表、意見発表などの各種競技を開催し、クラブ員の知識や技術の向上と意見交換、交流を図ってきました。

令和7年度、「第76回日本学校農業クラブ全国大会」は関東ブロックが担当し、山梨県（主管）・東京都・神奈川県为学校農業クラブ連盟が大会の企画運営を行うことから、大会名を「令和7年度日本学校農業クラブ西関東大会」として開催する運びとなりました。

東京都連盟は、加盟校8校、クラブ員2,100名で構成されます。東京は江戸幕府が開かれて以降400年にわたり、日本の中心として発展を続ける世界有数の大都市です。農地面積は、総面積の3.7%ほどではありますが、多様な需要をまかなうため、新鮮で安心なバラエティに富んだ農産物を産出しています。近年では都内各地で栽培されていた伝統野菜「江戸東京野菜」なども注目されています。令和4年に行われた東京オリンピックでは、全ての加盟校が食材提供を担うとともに、GAP活動にも積極的に取り組んでいます。この度、プロジェクト発表会が行われる府中市は、東京の中央部に位置し、武蔵野の貴重な自然が残っています。市内には国の天然記念物馬場大門ケヤキ並木を有し、歴史・文化・自然が融合する地域です。

神奈川県連盟は、加盟校5校、クラブ員約1,800名で構成されます。神奈川県は豊かな自然や歴史文化、都市景観を楽しめるエリアなど多彩な環境とともに、おもてなしの精神で全国のクラブ員の皆さまをお迎えさせていただきます。本県は、北西部に丹沢山地や箱根の山々、東と南には東京湾と相模湾二つの湾に面し、丘陵地帯と平野に恵まれた温暖な気候です。この気候や大消費地に近い都市農業の利点を生かし、果樹では果肉は柔らかく、酸味が少ない大粒ブドウ「藤稔」や上品な甘さとさわやかな香りが特徴の柑橘「湘南ゴールド」をはじめ、全国的にも有数の産地である三浦の「ダイコン」や「キャベツ」、明治時代から盛んに飼養されてきた養豚産業は「やまゆりポーク」「あつぎ豚」「高座豚」など良質な肉を産出しており、県下全域で農業が行われています。

最後に、山梨県連盟は、加盟校3校、クラブ員約450名で構成されます。本県は四方を日本最高峰の富士山を代表とする日本有数の山々に囲まれ、富士箱根伊豆国立公園、南アルプス国立公園、秩父多摩甲斐国立公園の3つの国立公園が県土の22%を占めております。県内の河川流域は、これらの山地から流下する富士川水系、相模川水系、多摩川水系の3つの一級水系からなり、四季折々の風景を見ることができます。日照時間が長く、降水量が少ない気候は、全国生産量1位のブドウ、桃、スモモなどの果樹栽培に適し、「フルーツ王国山梨」として全国に名前を馳せています。微力ではございますが、本県が全国大会事務局を務めさせて頂き、全国のクラブ員の皆様をお迎えいたします。

以上、本大会は西関東地区1都2県が協力し合い、豊かな自然と文化を発信した心温まる大会にしたい所存でございます。そして、本大会が将来の日本の農業と環境、地域文化を創造していく為、クラブ員の良き思い出として記憶に残るように、準備を進めてまいります。

つきましては、本大会の趣旨を御理解いただき、関係者のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年4月

東京都学校農業クラブ連盟会長（東京都立農芸高等学校）	川崎 柚 希
神奈川県学校農業クラブ連盟会長（神奈川県立相原高等学校）	井上 由 子
山梨県学校農業クラブ連盟会長（山梨県立北杜高等学校）	有井 裕乃介
第76回日本学校農業クラブ全国大会事務局長生徒実行委員長	佐竹 葵 野
第76回日本学校農業クラブ全国大会事務局長（山梨県立農林高等学校長）	清水 章 男

I 実施大綱

1 開催地 山梨県、東京都、神奈川県

2 主催 日本学校農業クラブ連盟 全国農業高等学校長協会
関東地区学校農業クラブ連盟 全国農業高等学校長協会関東支部
山梨県学校農業クラブ連盟 山梨県高等学校長会農業部会
東京都学校農業クラブ連盟 東京都高等学校長会農業部会
神奈川県学校農業クラブ連盟 神奈川県高等学校長会農業部会

3 共催 栃木県教育委員会 茨城県教育委員会 埼玉県教育委員会
千葉県教育委員会 群馬県教育委員会 東京都教育委員会
神奈川県教育委員会 静岡県教育委員会 山梨県教育委員会
会場市町村教育委員会 (予定)

4 期日 前日 令和7年10月21日(火) 審査員打合せ、リハーサル等
第1日 令和7年10月22日(水) 各種発表、競技会、各種会議等
第2日 令和7年10月23日(木) 大会式典等
(令和7年10月23日(木)午後～24日(金)午前 全国農業高等学校長協会総会、研究協議会)

5 大会内容・会場・担当校

※会場は予定

大会内容	開催場所	会場	担当校
プロジェクト発表会	東京都	府中の森芸術劇場	東京都立農業高等学校
意見発表会	神奈川県	JAグループ神奈川ビル	神奈川県立相原高等学校
平板測量競技会	—	—	—
農業鑑定競技会	甲斐市	山梨県立農林高等学校	山梨県立農林高等学校
クラブ員代表者会議	北杜市	山梨県立北杜高等学校	山梨県立北杜高等学校
代議員会	甲府市	YCC県民文化ホール (山梨県立県民文化ホール)	山梨県立北杜高等学校
大会式典・歓迎の集い	甲府市	YCC県民文化ホール (山梨県立県民文化ホール)	山梨県立笛吹高等学校
3都県の農業展 日連コーナー	甲府市	YCC県民文化ホール他 (山梨県立県民文化ホール)	山梨県立農林高等学校

6 参加者 日本学校農業クラブ員 約 3,700 名
全国農業関係高等学校長・教職員 約 1,000 名
来賓・役員等 約 300 名 合計 5,000 名

7 大会事務局 山梨県立農林高等学校
〒400-0117 山梨県甲斐市西八幡 4533
TEL 055-276-2611 FAX 055-279-1413
ホームページ ※大会ホームページ
メールアドレス ※大会メールアドレス
大会事務局長 山梨県立農林高等学校長 清水 章男

II 大会内容

1 プロジェクト発表会（新基準（案）による）

I類 農業生産 農業経営	1 農業生物の育成や生産性向上に関すること 2 農業生産物の加工・流通・消費に関すること 3 農業の経営や経済活動に関すること
II類 国土保全 環境創造	1 国土の保全や環境創造に関すること 2 森林資源の活用に関すること
III類 資源活用 地域振興	1 園芸作物や社会動物の活用に関すること 2 地域資源の活用や地域の振興に関すること

2 意見発表会（新基準（案）による）

I類 農業生産 農業経営	1 農業生物の育成や生産性向上に関する意見 2 農業生産物の加工・流通・消費に関する意見 3 農業の経営や経済活動に関する意見
II類 国土保全 環境創造	1 国土の保全や環境創造に関する意見 2 森林資源の活用に関する意見
III類 資源活用 地域振興	1 園芸作物や社会動物の活用に関する意見 2 地域資源の活用や地域の振興に関する意見

3 平板測量競技会

オプション化

4 農業鑑定競技会（新基準による）

10分野：作物・野菜・果樹・草花・畜産・食品・森林・農業土木・造園・生活

5 クラブ員代表者会議

6 代議員会

(1) 理事会 (2) 秋季代議員会

7 大会式典

(1) 主催者・来賓あいさつ (2) 審査講評・成績発表
(3) 歓迎の集い (4) 最優秀発表 意見発表・プロジェクト発表
(5) 表彰 (6) 大会講評・大会旗引継

8 3都県の農業展・日連コーナー

全国農業高等学校長協会

第 155 回全国理事会・第 150 回総会

並びに令和 7 年度秋季研究協議会

開催要項（案）

- 1 主 催 全国農業高等学校長協会
- 2 期 日 令和 7 年 10 月 23 日（木）～24 日（金）
（第 76 回日本学校農業クラブ全国大会に引き続き開催）
- 3 会 場 甲府市内（甲府記念日ホテル 山梨県甲府市湯村 3-2-30 を検討中）
- 4 参加者 全国農業高等学校長 約 250 名
- 5 日 程

10 月 23 日（木）		10 月 24 日（金）	
全国理事会・総会		研究協議会	
受付	14:00～14:30	受付	8:30～ 9:00
理事会・総会	14:40～16:40	研究協議会	9:00～12:00
教育懇談会	18:00～20:30		